

Victory

NO.8

令和7年11月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

*学校 HP> 学校図書館> #図書館の日常随時更新中

11月の立冬を過ぎたあたりから、日一日と気温が下がってきました。

今の季節は、「晩秋」にあたるのでしょうか？最近の気候変動に翻弄されるのは、人間だけでなく野生に生きる動物たちにも言えることを、このところのニュースから痛感します。どちらにとっても辛いことです。現状への対策として具体的な取組も行われています。

先日、動物生態学の視点からブナ科の実の豊凶と熊の出没の関係性から見える今回の状況について、専門家の興味深い話が流れていました。ここには詳細を記しませんが、興味のある人は、環境省や国立研究開発法人森林研究・整備機構、J-StageなどのWEBサイトの関連論文などを読んでみることをおすすめします。

データから現状と問題点を見出し、そこから社会の変動につながっていることに気づく、そのうえで未来への対策を考えるきっかけになることでしょう。

そして、見失ってはならないのは、「善し悪し」や「好き嫌い」という感情で短絡的に捉えるのではなく、事実を正確に受け止め、どのように共生していけるかを模索、思考する姿勢なのではないでしょうか。

「私だったらどうするか？」という自らへの投げかけは、思索する時間を作る大切な問いです。流れてくる情報をそのままやり過ごすのではなく、自分事として捉えると新たな視点が生まれます。まさに、探究そのもの。

暮れゆく秋は、静かに深く考えるのにふさわしい季節かもしれません。



お知らせ

LIBRARY CAFE

学校図書館は、利用者と社会をつなぐ役割があります。

今回、三省堂出版社の辞書編集長を東京からお招きし、「言葉」に興味関心のある生徒と編集長の車座的な座談会を計画しました。

師走のひとつき、「言葉」を介して豊かな時間を過ごしませんか？

本通信に掲載する前に、11月14日（金）昼休みに各クラスにポスターを掲示したところ、その日のうちに定員に達しました。

追加申込を受け付けます。（20名程度）

希望者は、11月25日（火）、26日（水）の昼休みに図書館カウンターまで。

宮崎西高等学校・附属中学校図書館

日時：令和7年12月16日（火）
16時～18時（受付15時45分～）

場所：図書閲覧室

定員：30名（先着）

申込：図書館カウンターで受け付けます。

満員御礼

座談会『言葉の海を泳いでみる』

書く、読む、話す...日常使っている「言葉」について、出版業界の辞書編集に携わる編集長とあなたの感じていること、考えていることを話してみませんか？編集や出版のこと、制作裏話など興味深い内容をお話します。

講師紹介

山本康一氏
三省堂大辞林編集部編集長、辞書出版部部長。
『舟を編む』の映画、TV番組の制作にも関わる。

映画上映会のアンケート実施中



図書委員会主催の上映会を12月26日に開催します。現在、高校2年のフロアにアンケートのボードを置いています。

観たい小説にシールを貼って下さい。
今回は、18作品の中から選んでもらいます。
現在のベスト3は以下の3作品です。

- *『ぼくらの七日間戦争』 宋田理著
- *『君の名は』 新海誠著
- *『もしも徳川家康が総理大臣になったら』

眞邊明人著

さあ、当日上映されるのははたしてどの小説！？

棚からひとつかみ『いざいざ修学旅行！』

中学2年生は今月末、高校2年生は来月初めにいよいよ修学旅行。

そこで、京都、大阪、東京、オーストラリア、ディズニーランド関連、などなど最新のガイドブックを複数購入しています。

自主研修グループで既に計画していると思いますが、参考資料としてぜひ情報収集に役立ててください。



「豆本づくりワークショップ」～読書月間企画～

10月31日の放課後、豆本を作りました。横5cm、縦10cmです。

所要時間は、約1時間。みんな器用！初めてとは思えませんでした
完成品はこちら↓。



図書館の日常 photography

ある日の昼休み



ブラウジングスペースでゆったり
読書タイム。



閲覧スペースでは…ソファで
読書、テーブルやカウンターでは
黙々と勉強。

『東京建築さんぽマップ』 523.1 マ

松田力著（エクスナレッジ）

19エリアから依りすぐりの建物を紹介した本書。街中を歩くときに、威風堂々の品格ある建築物にもぜひ目を向けてほしい。建築物はその時代の社会情勢、文化を知るきっかけとなるだろう。

ただ、そこに建っているのではないことを教えてくれる1冊だ。

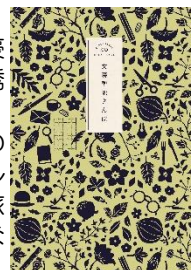


『文豪聖地さんぽ』 291.09 マ

松井美樹 取材（一迅社）

近代文学の大家が見た風景、愛した食べ物、泊まった宿など。教科書でお馴染みの文豪たちの聖地にあなたを誘う一冊。

東京、京都にゆかりのある文豪にフォーカスしてみると、今回の修学旅行がよりアカデミックな時間になるだろう。



(C)一迅社

『9割がバイトでも最高のスタッフに育つディズニーの教え方』 689 フ

福島文二郎著（中経出版）

「素質」は問わない。どんな上司・先輩だったら教わりたいと思うか？を教える側が考え、しっかり足場を固めること。次に「信頼関係」を築き、後輩の主体性を育む…ディズニーランドがなぜ来場者を満足させるのか？の根底を知ったら、納得するはず。



『ニッポンを解剖する！京都図鑑』

291 JTBパブリッシング（同じ）

神社仏閣はもちろん名所の数々。犬も歩けば寺社にあたる…も過言ではない。将来、京都の大学に行く生徒もいることでしょう。京都という土地の雰囲気、ぜひ堪能して下さい。はんなりとでもしたたかな中世の歴史や平安文学への興味・関心が開くきっかけとなる旅行になるといいですね。



利用してください。

放課後、図書館を利用する際のお願いです。
入り口右側にロッカーを設置しました。本の貸出・返却や読書で利用するときには、カバン等はロッカーに入れてくださいね。

